

使って得 ジェネリック医薬品

ジェネリックは
新薬と同じ効きめなのに
安くてお得ですよ

ジェネリックに
しますか？

う〜ん…



得



ジェネリック医薬品は、新薬(先発医薬品)の特許期間が切れた後に、ジェネリック医薬品メーカーが新薬と同じ有効成分を使って製造・販売する薬です。厚生労働省が定める品質基準をクリアして承認を受けているので、効きめや安全性、品質は新薬と同等です。また、新薬ほど開発費用がかからないので価格は2〜7割も安く販売されます。

長期間服用する薬ほど

花粉症の薬 (アレグラの場合)		高血圧の薬 (ディオバンの場合)	
新薬	11,500円	新薬	9,310円
ジェネリック	3,360円	ジェネリック	2,280円
8,140円 得		7,030円 得	

*1年間、自己負担3割の場合の薬価のみの比較です(2020年4月現在)

安いのはうれしいけど ちょっと不安…

そんなあなたには
AGがおすすめです



AG(オーソライズド・ジェネリック)は、新薬メーカーから特許使用の許諾を得たメーカーが、原料となる薬・添加物・製造方法などほとんどすべてを先発医薬品と同一にして製造するため、一般のジェネリック医薬品メーカーよりも優先的に早く販売することができます。また、新薬メーカーの系列会社が、新薬と同じ工場や生産ラインで製造し、他メーカーに先駆けて販売されることもあります。

自己負担の軽減に役立つジェネリック医薬品を希望する患者が年々増えているなか、新薬との同一性が評価される「AG」の登場により、さらにジェネリック医薬品の人気を押し上げています。



AGで!

さっそくジェネリックでお願いします!!



※AGとはAuthorized Generic(許諾を受けたジェネリック医薬品)の略です。
※すべての薬にジェネリック医薬品、AGがあるわけではありません。